

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 1 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501552		
法人名	有限会社 ほほえみ		
事業所名	グループホーム 微笑の家		
所在地	愛媛県新居浜市船木字上長野甲581-2 (電話) 0897-41-1838		
管理者	谷口恵子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 11 月 20 日	評価確定日	平成 20 年 1 月 9 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 31 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 9 月 5 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 16 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 16.3 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000~33,000 円	その他の経費(月額)	19,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 31 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1		名	要介護 2 6 名
要介護 3		7 名	要介護 4 2 名
要介護 5		3 名	要支援 2 名
年齢	平均 86 歳	最低 59 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者が、近親者の介護経験から必要性を強く感じ、訪問介護事業に取り組む中で利用者からの要望に応える形で立ち上げたホームである。併設施設にデイサービスがあり、待機者の受け皿にもなっている。自然に囲まれ、季節感のある環境の下、地域密着を目指して努力し、地域の方からも理解され、力強い協力を得ている。利用者の立場に立ち、一人ひとりの希望に沿えるよう細かく配慮し、穏やかな声かけと暖かいスキンシップでその人らしく暮らせるよう支援している。ターミナルケアについても希望を尊重し、協力医や家族と連携・協力を得て前向きに取り

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回評価で地域とのつながりを密にすることが課題に挙げられたことを受け、自治会に積極的にアプローチし、「ホーム便り」を毎月回覧してもらい、地域にホームの取り組みへの理解が得られるようにしている。また、運営推進会議に地域の方が多数出席し、積極的な意見が得られている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

日々のケアを振り返ることはサービスの質の向上のため重要であると認識した上で、評価のねらい等について学習会を開き、理解を深めてから職員一人ひとりが分担して自己評価している。それをユニットごとに職員全員で検討し、管理者と計画作成担当者でまとめている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

ホームが開催した夏祭りに関して来年度に活かせる意見が多数出ている。また、待機者への支援からホームの増設を要望する地域の声が多く、市担当者に直接要望を伝えられる場になっている。その結果、市の小規模多機能事業所の説明会に参加し、立ち上げに向けて市との連携も円滑に行われている。会議を利用者や家族の意見が出せるよい機会と捉え、毎回異なった利用者と家族が出席している。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族に利用者の暮らしぶりについて詳しく報告することで信頼を得ており、意見や要望を出しやすい雰囲気がある。年に1~2回開かれる家族会では率直な要望が多数出しており、サービスの質の向上のため運営者と検討し、早期の対応を心がけている。なお、重要事項説明書に事業所内と第三者機関の苦情受付窓口を明記している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

自治会に加入し、地域の奉仕活動にも職員が参加している。七夕の飾り付けには地域の子どもたちが来て、利用者と一緒に飾って楽しんでいる。地域行事の太鼓祭りや盆踊りに参加したり、ホームの夏祭りに地域の方々に来ていただいたりして交流に努めている。地域からの要望に応え、デイサービス棟を使って地域の高齢者の健康チェックや介護教室を開くことを検討している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 微笑の家

(ユニット名)

れんげの里

記入者(管理者)

氏名

谷口 恵子

評価完了日

平成 19 年 11 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時よりその人らしさを共に考える理念となっており、運営目標が地域密着型サービスとしての理念となっています。 (外部評価) その人らしく暮らし続けられるよう利用者の立場に立って考え、まごころを込めたサービスの提供をホームの理念としている。運営者が、地域の中でその人らしく生活することを支えるために設立したホームであり、理念を具体化させた運営目標に地域密着型サービスを謳っている。	※	達成しやすい具体的な目標をサブ理念として検討しています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念の文章を拡大し、リビングに掲示しており職員個々が毎日理念を読み理念を共有し実践する様にしています。 (外部評価) 職員全員が理念を共有できるよう毎朝唱和し、共用空間にも目に留まるよう掲示している。職員はそれぞれ、理念の中の「笑顔」「その人の立場に立って」という部分を大切にしており、ケアの面で活かしている。達成しやすい具体的な目標をサブ理念として立てることを検討している。	※	毎朝職員全員で理念を読み上げ、理解を深め同じ思いでケアができるよう努力していきます。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関入り口にも分かりやすい様に掲示しており、今年6月より理念が明記されたほほえみ新聞を毎月発行し家族や地域の方々に配布しています。	※	地域の公的機関や各居宅介護支援事業所へ配布する様にしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 駐車場や近くにある農園等で近所の方々等に会った時は気持ちのよい挨拶をする様にしており、夏祭り等のイベントには案内し来て頂いています。	※	近所の高齢者や子供さん達が気軽に遊びに来られる様な雰囲気作りや体制を心がけています。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会の一員として地域の奉仕作業や行事等に積極的に参加し、日頃から関係を深めています。 (外部評価) 自治会に加入し、ホーム便りを回覧してもらい、地域にホームの理念や活動について理解を得ている。地域の奉仕活動にも職員が参加し、地域行事の太鼓祭りや盆踊りに利用者と参加している。ホームの夏祭りには地域の方が多数訪れ、小・中学生による和太鼓演奏やバザー、盆踊り等盛大に開催している。	※	地域の盆踊り大会や太鼓祭り等へ参加させていただいており、今後も交流を持っていきます。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 定期的で開催している運営推進会議にて何らかの地域貢献ができる様話し合いを持ち検討しています。	※	施設を利用して地域の高齢者の健康チェックや介護教室等の開催に向けて取り組んでいきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の評価結果後すぐに改善点を見直し、ほぼ改善できています。 (外部評価) 評価の意義を理解したうえで評価のねらいについて学習会を開き、分担して自己評価している。それを基に全員で話し合い、管理者と計画作成担当でまとめている。前回評価時は開設間もないこともあり、地域とのつながりが課題として挙げられたが、積極的にアプローチし、自治会に加入してからは地域の一員として認められ交流を深めている。	※	全体会や部会等で評価を実施する意義を職員間で話し合い理解し毎年取り組んでゆきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回開催しており、利用者や家族代表者にも参加していただいております。 (外部評価) 2か月に1回の運営推進会議には多くの地域の方々の参加を得て積極的な意見が出されている。待機者が多いことからホームの増設への要望が強く、小規模多機能事業所の立ち上げに向けて市との連携がスムーズに行われている。家族・利用者全員の意見を吸い上げるため、毎回異なる利用者・家族が出席し、協力医の参加も得ている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市役所を訪問した際には担当者に挨拶をする様にしており、いつでも訪問して頂ける様に連携を持っています (外部評価) 市との連携が必要な利用者が、市役所の要請もあり入居しているため、市役所職員が来訪して相談している。また、小規模多機能事業所の立ち上げに関する相談や連絡を取っている。	※	運営上の問題や利用者等の対応についての相談等に連絡を取りサービスの質向上に努めたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度の理解はできるいるが活用の推進までには至っていません。	※	職員への学習会を持ち必要性の理解を深め利用促進が図れる様していきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 全体会や部会等で学習会を持ち事業所内での虐待が見過ごされることがない様に注意を払い利用者の様子を常に観察しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明書を基に契約時には十分に説明を行い理解と納得を図っています。	※	なるべく利用者也交えて不安や疑問な点が残らない様に十分に時間をかけて説明していきます
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は常に傾聴を心がけているがうまく表現できない利用者を把握し、職員で対応できない所は管理者が対応しています。	※	利用者がどんな事でもいいやすい雰囲気を作り、常に声かけし管理者に報告し不満や苦情等においてはその都度納得のいく対応と解決に努めます。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎日の生活の状況を記入した生活の様子を毎月家族に配布し、健康状態や金銭管理においては家族来所時に管理者から説明しています。	※	生活の様子は各受け持ちが毎月記入し、ファイルに綴じ各居室に置き家族来所時にいつでも見られる様にしました。
			(外部評価) 家族の面会は、多い方は毎日、少ない方でも月1回はあため、声をかけ利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理について報告している。毎日担当者が生活の様子を一行にまとめ、居室に綴じて置いているため、面会の少ない方も詳しく知ることができる。職員の異動については、急な場合を除き担当者が変わる旨伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 敬老会の後に合同家族会を開催し家族より意見や要望を出して頂く機会を設け、運営者等と検討し早めに解決してゆく様努力しています。	※	今年度より春と秋2回の家族会を開催する予定をしており、家族会役員とも相談し日程や内容を検討していきます。
			(外部評価) 面会時に声をかけ、利用者の最近の暮らしぶりについて話しながら、希望や意見を出しやすい雰囲気を作っている。面会時に担当者が出勤していない場合を考慮し、居室に連絡ノートを置き、要望等を記入してもらっている。親睦を兼ねた家族会では忌憚のない意見が出され、会議録に記し、運営者や職員と検討し、運営に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営方針や利用者の受け入れの可否については職員の見聞している。	※	定期的に話し合いの場を設け運営者や管理者と職員との間で意見交換をする
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 特別なイベントや外出時には必要な職員の確保を行っている。	※	管理者はフリーな立場とし急変時や家族の要望等いつでも対応できる様に努めています。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動及び離職希望時には職員と話し合いの時間を持っている。 (外部評価) 職員の異動があるときには、引継ぎが円滑になされるよう、1～2日の研修期間を設けている。他方ユニットや他事業所での経験は職員の育成のためにも必要であるとの認識から、利用者に配慮しながら少人数の異動をしている。今の所、利用者が異動によりダメージを受けている様子は見られていない。	※	利用者へのダメージを極力少なくすべく、異動時は時間の余裕を持って職員との話し合いをする
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の研修意欲はあり体制も整ってきた為段階に応じた育成計画を立てシフトを調整し研修機会を確保しています。 (外部評価) 職員は研修への参加意欲があり、毎月順番に外部研修に参加している。ホーム内でも月1回学習会を開き、リスクマネジメントや口腔ケア等議題を決めて研修している。このとき、外部研修に参加した職員が伝達講習もしている。研修参加のための費用についても職員育成のため援助していく方針である。	※	職員の仕事に対する意欲を高める為にも教育予算を出し研修や他施設見学等、年間計画を立てていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今年度より新居浜地域グループホーム管理者交流会が開催され、情報の共有やネットワークの構築ができる様になりました。 (外部評価) 独自に市域グループホーム管理者交流会を開いて情報交換し、会には市担当者も参加している。また、県グループホーム連絡協議会主催の相互研修に参加し、積極的に意見交換し、お互いの良い所を取り入れてサービスの質の向上につなげている。	※	愛媛県グループホームの相互研修に今年度より参加し他のグループホームとの交流を持つ事により質の向上に努めています。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 管理者も含め職員間でも何でも話し合いができる様により雰囲気作りをしています		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は、ホームに来た際、管理者や職員と必ず会話し、職員の勤務内容・態度等状況把握に心がけている。	※	運営者は管理者と話し合い勤務状況を把握し昇給等も検討し意欲の向上を図る様にしています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から利用開始までの間に管理者は事前面接を行い、本人との対話を大切に不安のない様努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時より家族の話を傾聴し、フェースシートを利用し情報収集し、家族の介護負担を共感し受け止めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時や本人との面接時に必要な支援のアドバイス等を行い入居においては待機状況もあるが緊急性を考慮し対応しています。	※	新居浜市においては9月より各グループホームの待機者数の管理を行っており、毎月報告し、新居浜市全体の待機情報の把握ができるようになりました。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居までにはなるべく本人にホームを見学していただくたり待機期間に併設のデイサービスや訪問介護の利用等を勧めホームの雰囲気馴染める様、家族等と話し合っている。 (外部評価) 本人や家族に見学に来てもらったり、ホームの雰囲気に馴染んでもらえるよう半日ないし1日の体験入居を行うなどしている。現在併設のデイサービスを利用している待機者に対しては、デイサービスとホームで順に行われているボランティアの行事に参加してもらい、ホームの雰囲気や職員、利用者と馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常の会話や行動の中から自然にできており、共に過ごし支えあう関係を築いています。 (外部評価) 一人ひとりのできることを「～してくれますか」という強制にならない声かけでお願いし、感謝の言葉を伝えていく。皆カラオケが好きで、童謡や唱歌を教えてもらいながら職員も一緒に楽しく歌っている。	※	これからも共に過ごし支えあう関係を築いて行けるように努める。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の方々と協力しながら本人を支援している事を意識し、家族がいつでも訪問できる様な雰囲気作りと声掛けを行っています。	※	なかなか面会に来られない家族へは適宜連絡を取り本人の希望を共有し合える関係作りに努めます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 職員は本人と家族の関係を理解できる様に日々努めており、より良い関係が築いて行ける様家族との時間を大切にしています。	※	中には、家族との交流が少ない方もおり、面会時にはご家族での時間を大切にもらえる様に配慮しています。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の希望を聞きながら家族の協力も得て支援する様に努めています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日常の会話や行動の中で自然にできており、利用者同士が関わり合い支え合える様に声掛け、場面作り等行っている。	※	利用者同士の関係を観察、把握し仲間作りができる様支援して行く。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期入院等によりサービス利用が終了しても継続的な支援の必要な利用者に対しては、家族へ情報提供やアドバイスを行い援助を継続しています。	※	再入居の申し込みも受けており家族との関係を大切にしています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者一人ひとりと会話し希望や意向の把握に努めています。 (外部評価) 一人ひとりとの対話を通して、希望や意向の把握に努めている。ほとんどの利用者が言葉で希望や意向を伝えられるが、体調等で困難な場合は利用者の動作やスキップで把握するようにしている。把握した意向は介護計画に活かせるよう個人の経過記録に記入し、申し送り、職員間で共有している。	※	本人家族等からも話を聞き思いや意向の把握に努めていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) フェースシートを基に利用者との会話の中から聞き取り把握する様に努めています。	※	フェースシートの内容を検討し、生活暦や暮らし方等が詳しく把握できるものに変更してゆく予定です。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 申し送り等を確実に言い少しの変化にもいち早く気付ける様現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) アセスメントに基づいてチームでサービス担当者会議を開催し、利用者主体の目標を立て個別性のあるケアプランの作成に努めています。 (外部評価) 利用者毎の担当者を決め、本人や家族の要望を聞き、情報収集してアセスメントシートを作成している。それを基にサービス担当者会議で意見を出し合い、その人らしく暮らせるよう介護計画を立てている。介護計画に沿ってサービス提供できるよう、日課計画表を作成し、個別のサービスを明確にしている。	※	サービス担当者会議の開催時には本人や家族等も意見が出し合える様に取り組みたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月の更新時に見直しを行っているが入院されたり著しく変化があった場合は、早めにモニタリングを行いケアプランを変更する様にしています。 (外部評価) 毎日担当者及び夜勤者が介護計画の遂行状況を評価し、利用者の状態を見極め、見直しに役立てている。入院等で状態変化が見られた場合は早めにモニタリングし、見直している。基本的には担当者が3か月ごとにモニタリングし、サービス担当者会議で話し合い、新たな計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別のファイルに時系列で丁寧に記載しておりケアプランが反映できる様、実践や気づきが記入されています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設のデイサービスでの行事に参加させてもらったり、介護車両を利用して載くことにより、全員の外出や個別の医療受診等の支援ができています。 (外部評価) デイサービスの介護車両を利用して、車いすの方も含め全員での外出を支援している。認知症の進行している方や車いすの方の通院介助にも介護車両を使用し、職員が同行している。家族から宿泊の希望があれば畳を貸し出したり、弁当持参で面会に来る家族にお茶を提供したりする等、柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて民生委員や市役所の介護福祉課と連携を取っています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人や家族の意向があれば保険外サービス等も受けられる様支援します。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 4月より介護予防も取り入れており、必要性に応じて地域包括センターとも協働して行きたい。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関のかかりつけ医による月1回の定期検診と、週1回の往診は継続しており、入居時に希望を確認し協力医療機関外との連携も大切に適切な医療が受けられる様に支援しています。 (外部評価) 月に1回協力医による定期健診があり、利用者全員が受診している。また、週1回及び随時の往診で、健康面で気になる利用者の受診を支援している。受診の結果異常が認められた場合は家族に連絡し、医師からの説明を受けられるようにしている。かかりつけ医は本人や家族の希望に沿っており、入居前からの医師に診てもらっている利用者もいる。	※	かかりつけ医による定期の検診や往診外でも必要に応じ定期受診や専門医受診等の援助は行っています。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の定期往診を必要な利用者は受けられており、常に相談したり適切な治療がなされています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ユニットには、看護師が配置されており、医療の連携や健康管理はきちんとできています。	※	必要に応じ訪問看護の依頼も検討します。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には看護師である管理者が同行し早期退院ができる様医療関係者と情報交換したり退院に向けての担当者会議を依頼したりしています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合やターミナルケアの希望がある場合は、本人や家族の意志を尊重し、繰り返し話し合い方針を決めケアプランを立て対応する様にしています。 (外部評価) 入居時から、重度化した場合について本人や家族の希望を聞いており、利用者の状態変化がある度に家族と話し合い方針を決めている。ホームでは医療面でできることに限りがあることを家族にも了解を得て、協力医と連携し、ターミナルケアに積極的に取り組んでいる。家族が病院等への転居を希望する場合は転居の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者や家族の要望になるべく添える様にしてゆきたいが、医療行為等できない事を理解していただき、かかりつけ医と共にチームとしての支援は行っています。	※	かかりつけ医は家族や本人へきちんと説明を行い緊急時にはいつでも往診や指示が受けられる様な連携体制をとっています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 準備時より関係者間で十分な話し合いを持つようにし、管理者は必要に応じ介護サマリー等の情報交換を行いダメージの防止に努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者一人ひとりの人格を尊重した対応に心がけ記録等も本人の立場に立った書き方をする様職員への指導は出ています。 (外部評価) 接遇面で利用者の誇りを損ねるような声かけをしないよう注意しており、さりげなく穏やかな声かけがされている。ホーム便りに利用者の名前や写真を掲載することは、同意を得ている。また、個人情報が記載された書類の管理にも気をつけている。	※	記録や書類等の管理や職員への接遇教育等も適宜行い、徹底していきます。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) お買い物ツアー等でご自分で買いたい物が選べるように助言したり、希望等が言いやすい雰囲気作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者個々の生活リズムを把握し、利用者のペースに合わせた生活ができる様支援しています。 (外部評価) 身体機能の低下により自由に動きにくい方には、足上げ等のリハビリで筋力を上げる支援をしている。体調の悪い時や集団で過ごすのが苦手な方には職員が付き添い、居室で食事を取れるよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 衣服の汚れや乱れに気を使い、外出時等は本人の好みを考慮しおしゃれや着替えができる様に支援しています。	※	理・美容は月に1～2回出張で来て頂いているが、パーマや毛染め等の希望者への外出支援も行っていきたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の好みを把握し、職員は利用者と同じ食事を食べながらスムーズに食べられる様にさりげなく支援している。 (外部評価) 畑で収穫した野菜を食材に利用しているため、新鮮で話題にもなる。毎食検食し、利用者の好みも考慮しておいしい食事の提供に努めている。食事の準備を手伝ってくれた利用者へ感謝の気持ちでねぎらっている。準備や後片付け、手作りおやつを作る等、利用者ができることで関わってもらえるよう支援している。	※	お盆拭きや野菜の下準備等のお手伝いを見守りで行っていただいています。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好の制限はしていなく、本人が望むお酒等は、健康上支障のない程度に楽しめる様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) なるべくおむつを使用しない様に各自の排泄パターンを把握し、排泄チェック表で確認し、早めにトイレ誘導等を行っています。	※	トイレに1人で行かれる方の排便コントロール等は定期的にチェックする様にしています。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 隔日にはゆっくり入浴できる様に支援しているが、利用者の希望に応じ毎日の入浴も対応可能としています。 (外部評価) 一人ひとりの希望に合わせ、隔日、あるいは毎日入浴を支援している。介護度の高い利用者もシャワーいすを利用しながら浴槽に入ることができている。以前は入浴拒否の方もいたが、今は馴染みの関係ができたためか拒否の方はいない。	※	入浴時間帯を午後としているが希望や状況に応じ夕方や夜の入浴も検討しています。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 居室の温度に気をつけ、暖房・冷房等で温度調整している。又、運動量が不足していると思われる利用者には、夕方の散歩を心がけている。	※	不眠の訴え者には、睡眠パターンや生活リズムを把握し、なるべく眠剤等を使用しない様にしています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 洗濯物たたみのお手伝いは、日常的に行っていただき、又時代劇が好きの人が多く、始まる時間に声かけています。 (外部評価) 一人ひとりのできることを把握し、立ち仕事のできない利用者にも洗濯物たたみ、お茶の詰め替え、野菜の下準備、お盆拭き等座ってできる仕事をお願いし、感謝の気持ちを伝えている。過去の生活歴を活かし、家庭菜園をしていた利用者は農園で畑仕事をしている。また、レクリエーションの時間を設け、カラオケ、習字、塗り絵等楽しんでいる。	※ ※	趣味等が活かせる様にレクでの創作活動や書道等を取り入れています。 センター方式をホーム独自の方式に改良したフェイスシートを作り、利用者の生活歴や暮らし方を詳しく把握できるようにする予定である。フェイスシートを活用し、さらに一人ひとりの生活歴を活かした支援に期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者一人ひとり、家族からお小遣いを預かっている。希望等必要に応じて支援している。	※	お金を所持したり、管理できる利用者へは本人及び家族へ説明し、小遣いの所持を勧めています。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 併設してあるデイサービスの行事に参加させていただいたり、近くの自農園へ野菜の収穫に行ったり、ホーム周辺の散歩等外出支援をしています。 (外部評価) 天気の良い時は車いすの方も含め散歩に出かけたり、農園の水遣りや収穫を楽しんだりしている。駐車場に張ったテントで休憩し、お茶を楽しむこともある。月2回程度全員で買い物ツアーや外食、カラオケ、花見等に出かけ、気分転換している。歩行の可能な方は日常的な買い物にも出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 外食やお買い物ツアー等を毎月計画し、利用者の要望を聞きながら実施しています。	※	車椅子利用者等で家族だけでは外出できない利用者に対しては、事前に家族へも連絡し、一緒に外出できるように支援しています。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の不安により電話を希望される利用者に対しては、家族の理解を得て電話での会話ができる様に支援しています。	※	手紙等の文章を書く機会を設け、自主的に書ける様に支援していきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族の来所には笑顔で挨拶し、居心地よく過ごせる様な雰囲気心がけています。	※	家族等がいつでも居室で宿泊できるように広めのスペースで畳等も準備しています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員が認識して実践している。	※	身体拘束の弊害が正しく理解できているか、適宜認識を確認しています。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけなくて済むような配慮をしており、日常生活の中で外出傾向のある人は、把握できており、個別対応に努めています。 (外部評価) 外出傾向のある方を把握し、見守りに努め、外出時は一緒について出かけている。現在は外出傾向のある方が活動的であることを把握し、ホームで役割を担ってもらうことで落ち着いている。各ユニットの出入りにドアの開放時にチャイムが鳴るセンサーをつけて外出を察知できるようにし、日中は鍵をかけないケアをしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 記録等の事務処理はリビングの全体を見渡せる場所で行い居室への巡回は頻繁に行い、安全の確認に努めています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状態に応じ、危険のないように個別に保管したり、管理を行っています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人ひとりのケアプランに基づいて状態を確認し、事故防止に取り組んでいる。	※	リスクマネジメントの研修に参加したり、事故防止の為の学習会等を開催し、職員の認識を高めるようにしています。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルがあり学習会等は適宜開催していますが、実践に対しては不安もあり、訓練を定期的に行う様に検討しています。	※	救急救命の講習を開催する事により指導が受けられる様にしました。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防計画書を作成し、自衛消防隊を編成している。又、災害発生時の職員、家族等への緊急連絡も確立しており、定期的な非難訓練も計画しています。	※	災害時に地域の中での連携がとれるように連絡体制の整備に努めます。
			(外部評価) 消防署の協力のもと利用者と共に避難訓練を実施している。ホーム独自にも消火器の使い方、避難経路の確認等の訓練をしている。また、緊急時の連絡網等、防災マニュアルを作成し、運営推進会議では地域の方に協力をお願いしている。今の所夜間を想定した避難訓練は実施していない。	※	職員の少ない夜間を想定した避難訓練を実施し、確実な避難誘導ができるよう準備しておくことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 個々の利用者のリスクを把握し、家族等へはその都度説明を行い、対策について話し合っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 起床後、バイタルチェックを行い体調管理を行っている。食事量、水分量等を把握して体調変化の早期発見を心がけている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの薬をケースに整理し、チェックシートに記入することで飲み忘れを防止し、指示通り服用できるように管理し、症状の変化等の確認に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの排便チェックと便秘傾向のある利用者を把握して、予防として飲食物の工夫や軽運動を勧めています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後には声かけし、歯磨き、入れ歯の手入れを日常的におこなっている。	※	利用者の状況に応じ、職員が口腔ケアを介助したり必要に応じ歯科受診の援助を行っています。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの摂取カロリーや水分量を把握をする様にしており、バランスの良い食事の提供や確保に努めています。 (外部評価) 調理・検食記録表に献立や食材を記入し、食材が重ならないように献立を一食分ずつ立てている。食事・水分摂取量をチェックし、記録して利用者一人ひとりが必要量を確保できるよう支援している。また、利用者の状態に合わせて粥や刻み食を提供している。年に数回栄養士に点検してもらい、摂取カロリー、栄養バランスを確認している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 外出時の手洗いやうがいを励行し、インフルエンザの予防接種は、利用者、職員全員に毎年実施しています。	※	感染症の項目別マニュアルの見直しや定期的な学習会を検討しています。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 衛生管理に充分注意をして旬の食材を取り入れ、食材は毎日買出しに行っている。台所では適宜ハイター消毒等を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関前及び中庭には植物を植え、季節によって花が咲き、楽しめるように工夫しており、家庭的な雰囲気づくりをしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 台所、浴室、トイレは一般家庭と変わらず、リビングには、畳部屋を設けてくつろげる雰囲気になっている。又、季節に応じて展示物を変えたりしている。 (外部評価) 玄関、洗面所、リビングに季節の花を飾り、テレビの前にソファを置き、カラオケを楽しめるようにしている。リビングに続く和室は腰かけられる高さで、ボランティアの大正琴等の演奏時には舞台となっている。また、リビングから見える中庭は心和む草木が植えられている。洗濯物干し場でもあるテラスも風雨よけの工夫がされている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングには、畳部屋を設けておりテレビの前には、ソファ、廊下には椅子を置いて、自由に思い思いに過ごせる様工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 収納スペースも広くあり、一人ひとりの希望に応えられている。ベットを好まない方には畳を用意している。 (外部評価) 居室はフローリングであるが、転倒の恐れのある方の部屋は壁や床に絨毯様の物を張り、衝撃を少なくするよう工夫している。入居前、床に布団で寝ていた方は畳を敷いてしている。仏壇や本、写真等利用者が大切にしている物が持ち込まれている。収納スペースが広いので、テレビやいす等を置いても家族が泊まる余裕がある。	※	長年使い慣れた物や思い出の品等の持ち込みを勧めており、安心して過ごせる様に配慮しています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 利用者の様子を見たり、聞いたりしながら冷暖房の温度調節をしている。適宜換気を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 収容スペースが広いので利用者一人ひとりの希望に応えられている。安全に配慮し、ベット、畳の両方で対応できるようにになっている。	※	出来るだけ転倒のない様、物を置かず広くゆったりと動けるような配置を配慮しています。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 各居室の入り口にネームプレートをつけており、風呂・トイレは手作りのプレートを掛けている。	※	各部屋に大きい文字でプレートをかけ、利用者が理解しやすいように工夫しています。
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 駐車場にテントを設営し、テーブル等を置き、散策時の休憩場所としたり、ティータイムに利用できるようにしています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常会話の中で利用者の思いや願いを聞く様に心がけている。生活暦を把握できる様に努め、生活の中でその方の経験が生かされる様心がけている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	全員が同時には難しいがレクリエーションや対話の時間を取っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	規則正しい生活を送って頂く為日課スケジュールはありますが、利用者の状態や要望に対応して本人のペースで生活ができる様に支援しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の趣味等を把握し、日常の会話の中でその話題に触れてみる様になっている。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	近所への外出はできるが利用者の心身の状況・状態によりできない事もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調不良時には随時往診に来て頂いている。月1回の検診により利用者の健康管理を行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間・行動等の束縛なく利用者の意志を尊重した支援を心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、職員から声かけし最近の状況等を告げる事により、家族からの希望や意見を話しやすい環境を作っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	家族の面会は非常に多く、大正琴・日本舞踊・マンドリン・トランペット等のボランティアで定期的に訪問される方も多いが地域の方による訪問は限られている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	自治会行事に積極的に参加している。又毎年8月に夏祭りを実施し、和太鼓・盆踊り等地域関係者の協力が得られている。
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	新しく入社した職員は仕事に慣れる・覚える事で精一杯のところがありますが、スタッフ同士協力し合い、家庭的な雰囲気の中で活き活きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者一人一人の情報・意見は職員全員が把握できる様にし、対応しているが、時に不満の声も聞かれる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	最近はおとんど家族よりお礼の言葉を頂きホームでの利用者の生活の続行を希望されている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

年中行事やお誕生日会等には、家族への案内も欠かさず行い、家庭的雰囲気を大切にしています。気分転換等のため外出する機会を多く持ち、外食・買い物ツアー等利用者の要望に添うようにしています。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム微笑の家
(ユニット名)	菜の花畑
記入者(管理者)	
氏名	谷口 恵子
評価完了日	平成 19 年 11 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) その人の立場に立ちその人らしく暮らし続けられるよう、設立時より事業者独自の理念を作り、まごころあるケアの提供に努めています。 (外部評価) その人らしく暮らし続けられるよう利用者の立場に立って考え、まごころを込めたサービスの提供をホームの理念としている。運営者が、地域の中でその人らしく生活することを支えるために設立したホームであり、理念を具体化させた運営目標に地域密着型サービスを謳っている。	※	職員全員の納得のいく理念に取り組み、理解を深め常に利用者の立場になることを忘れない様に努めています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎朝管理者も含み職員全員で理念を読み上げ、理念を共有し同じ目標に向かって実践しています。 (外部評価) 職員全員が理念を共有できるよう毎朝唱和し、共用空間にも目に留まるよう掲示している。職員はそれぞれ、理念の中の「笑顔」「その人の立場に立って」という部分を大切にしており、ケアの面で活かしている。達成しやすい具体的な目標をサブ理念として立てることを検討している。	※	日々理念を振り返り勤務マニュアルにそって、職員が皆同じケアの提供ができるようにしています。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 理念の文字を大きく拡大し、玄関入口やリビングに掲示しており家族や外来者が見やすく、理解していただけるようにしています。今年6月より理念が明記されたほほえみ新聞を毎月発行し、家族や地域の方々に配布しています。	※	ほほえみ新聞は地域の公的機関(地元自治会)や各居宅介護支援事業所へも配布する様にしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 利用者との散歩等で近所の方等に会った時はきちんと挨拶するようにしており、夏祭り等のイベント時には案内し多くの方にきていただいております。	※	催し物等の時は地域の各施設や地元自治会に告知し、参加を呼びかけています。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の一人として自治会の行事参加に努めている。日常的なつきあいだけでなく広く意見を求めています。 (外部評価) 自治会に加入し、ホーム便りを回覧してもらい、地域にホームの理念や活動について理解を得ている。地域の奉仕活動にも職員が参加し、地域行事の太鼓祭りや盆踊りに利用者と参加している。ホームの夏祭りには地域の方が多数訪れ、小・中学生による和太鼓演奏やバザー、盆踊り等盛大に開催している。	※	地域の盆踊りや太鼓祭りに参加させていただいており、今後も交流をもっていきます。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域のボランティア活動など積極的に取り組む努力をしています。	※	施設を利用して地域の高齢者の健康チェックや介護教室等の開催に向けて取り組んでいきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 質の向上のために前回評価結果の改善点を一つひとつ丁寧に見直し、前向きに取り組むほぼ改善できています。 (外部評価) 評価の意義を理解したうえで評価のねらいについて学習会を開き、分担して自己評価している。それを基に全員で話し合い、管理者と計画作成担当者でまとめている。前回評価時は開設間もないこともあり、地域とのつながりが課題として挙げられたが、積極的にアプローチし、自治会に加入してからは地域の一人として認められ交流を深めている。	※	外部評価を受け、改善できることは積極的に改善していきたい。自己評価実施する意義を職員間で話し合い、理解し毎年取り組んでいきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回地域代表の方々や家族等に集まっていたが、話し合いサービスの向上に努めています。 (外部評価) 2か月に1回の運営推進会議には多くの地域の方々の参加を得て積極的な意見が出されている。待機者が多いことからホームの増設への要望が強く、小規模多機能事業所の立ち上げに向けて市との連携がスムーズに行われている。家族・利用者全員の意見を吸い上げるため、毎回異なる利用者・家族が出席し、協力医の参加も得ている。	※	地域の方々の声が直接聞けるので議事録をもとに、後で職員間で話し合っている。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市役所の職員に訪問していただいたり、常に連携をとっています。 (外部評価) 市との連携が必要な利用者が、市役所の要請もあり入居しているため、市役所職員が来訪して相談している。また、小規模多機能事業所の立ち上げに関する相談や連絡を取っている。	※	運営上の問題や利用者の対応についての相談等に連絡を取り、サービスの質の向上に努めたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在は該当者は居られず、活用の推進までには至っていません。	※	直面した時に迷わず支援できる様に学習会等を持ち、必要性の理解を深めたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 学習会を持ち、事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の契約時には重要事項説明書を基に、十分な時間をとり説明を行い理解と納得を図っています。	※	なるべく利用者にも同席していただき、不安や疑問点が残らないように説明していきます。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は常に傾聴を心掛け、入居者が気軽に申し出る体制としており、不満や苦情等においてはその都度管理者に報告し、納得の行く対応と解決に努めています。	※	意見箱を玄関に設置し受け入れ易くしている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の生活状況を日々一行にまとめ、生活の様子として記入しており、毎月末には各居室に置いてあるファイルに綴じ、家族が来所時にいつでも見られるようにしています。 (外部評価) 家族の面会は、多い方は毎日、少ない方でも月1回はあため、声をかけ利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理について報告している。毎日担当者が生活の様子を一行にまとめ、居室に綴じて置いているため、面会の少ない方も詳しく知ることができる。職員の異動については、急な場合を除き担当者が変わる旨伝えている。	※	利用者の預り金に関しては小遣い帳を作成しており、金銭補充時に確認していただいています。 最近では職員の入れ替わりもなく落ち着いているが、今後異動の際には新しい職員を把握できるよう、ホーム便りに職員紹介を掲載する等工夫して報告することを期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 敬老会の後に合同家族会を開催し家族より意見や要望を出していただく機会を設け、経営者等と検討し早めに解決してゆくよう努力しています。 (外部評価) 面会時に声をかけ、利用者の最近の暮らしぶりについて話しながら、希望や意見を出しやすい雰囲気を作っている。面会時に担当者が出勤していない場合を考慮し、居室に連絡ノートを置き、要望等を記入してもらっている。親睦を兼ねた家族会では忌憚のない意見が出され、会議録に記し、運営者や職員と検討し、運営に活かしている。	※	ホームにとって苦情は大切な要因であり、職員全員で対応、共有することが質の向上につながると受けとめています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝礼、申し送り等で個々の職員が発言できる機会を設けています。	※	定期的に話し合いの場を設け、運営者や管理者と職員との間で意見交換をしてゆきます。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 特別なイベントや外出時等、必要に応じた職員数を確保できるようにしている。	※	管理者はフリーな立場とし、急変時や家族の要望時にいつでも対応できる様に努めています。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 全職員が安全に介護できるように馴染み関係もある為、出来る限り移動には注意を払っています。 (外部評価) 職員の異動があるときには、引継ぎが円滑になされるよう、1～2日の研修期間を設けている。他方ユニットや他事業所での経験は職員の育成のためにも必要であるとの認識から、利用者に配慮しながら少人数の異動をしている。今の所、利用者が異動によりダメージを受けている様子は見られていない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の研修意欲は高く、研修後の記録や報告は的確に行っている。各職員の段階に応じ育成計画を立て、シフトを調整し研修機会を確保しています。 (外部評価) 職員は研修への参加意欲があり、毎月順番に外部研修に参加している。ホーム内でも月1回学習会を開き、リスクマネジメントや口腔ケア等議題を決めて研修している。このとき、外部研修に参加した職員が伝達講習もしている。研修参加のための費用についても職員育成のため援助していく方針である。	※	職員の意欲の向上の為にも教育予算を出し、研修や他施設見学等年間計画を立てていきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今年度より新居浜市地区グループホーム管理者交流会が開催され、情報の共有やネットワークの構築ができるようになりました。 (外部評価) 独自に市域グループホーム管理者交流会を開いて情報交換し、会には市担当者も参加している。また、県グループホーム連絡協議会主催の相互研修に参加し、積極的に意見交換し、お互いの良い所を取り入れてサービスの質の向上につなげている。	※	愛媛グループホーム相互研修に今年度より参加し、他のグループホームとの交流を持つ事により質の向上に努めています。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員同士気軽に会話できるような職場外での食事会等を個々に行っている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は管理者や職員にホームに来た際には必ず会話し、職員の勤務内容や態度等状況把握に心掛けている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から利用開始までの間に、管理者は事前面接を行い本人との対話を大切にし、不安のないよう努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時より家族の話を傾聴し、フェースシートを利用し情報収集し、家族の介護負担を共感し受け止めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時や本人との面接時には必要な支援のアドバイス等を行い、入居においては待機状況もあるが緊急性を考慮し対応しています。	※	新居浜市においては9月より各グループホームの待機者数の管理を行っており、毎月報告し、新居浜市全体の待機情報の把握ができるようになりました。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居までにはなるべく本人にホームを見学していただいたり、待機期間中に併設のデイサービスや訪問介護の利用等を勧め、ホームの雰囲気になじめるよう家族等と話し合っている。 (外部評価) 本人や家族に見学に来てもらったり、ホームの雰囲気に馴染んでもらえるよう半日ないし1日の体験入居を行うなどしている。現在併設のデイサービスを利用している待機者に対しては、デイサービスとホームで順に行われているボランティアの行事に参加してもらい、ホームの雰囲気や職員、利用者となじめるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に声掛けやスキンシップ、コミュニケーションを大切にし、一緒に生活する中で安心や安定を生み出されるよう全職員が心掛けている。 (外部評価) 一人ひとりのできることを「～してくれますか」という強制にならない声かけでお願いし、感謝の言葉を伝えている。皆カラオケが好きで、童謡や唱歌を教えてもらいながら職員も一緒に楽しく歌っている。	※	利用者の昔話等傾聴し、共に支え合う関係を築いていきます。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との情報交換をしながら、本人の希望を取り入れ共有しあう関係づくりに努力している。	※	なかなか面会に来られない家族へは適宜連絡をとり、本人の希望を共有し合える関係作りを努めます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 一緒に長時間話し合える雰囲気づくりと、良い関係作りが築けるように支援している。	※	家族面会時には本人と同じ時間過ごせるように配慮しています。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人が大切にしていることや、馴染みの人が来所されやすく途切れないように配慮しています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 本人の意向を取り入れ、孤立することのないように利用者同士の共同生活が楽しく送れるように支援している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期入院等によりサービス利用が終了しても継続的な支援の必要な利用者に対しては、家族へ情報提供やアドバイスを行い援助を継続しています。	※	再入居の申し込みも受けており家族との関係を大切にしています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ゆっくりくつろいだ気分の時にレクリエーションを通して、趣味のぬり絵や思い出のメロディーを歌ったり習字や創作活動等の希望や意向を把握し、良い暮らしができるようにしています。 (外部評価) 一人ひとりとの対話を通して、希望や意向の把握に努めている。ほとんどの利用者が言葉で希望や意向を伝えられるが、体調等で困難な場合は利用者の動作やスキップで把握するようにしている。把握した意向は介護計画に活かせるよう個人の経過記録に記入し、申し送り、職員間で共有している。	※	困難な利用者の場合は、家族と話し合い、その人らしい生活が送れるように支援しています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個々の馴染みの暮らし方、生活歴等、家族から教えていただき、暮らしよい環境作りに努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 出来る事出来ない事を把握し、生活の質を上げることに努力し満足され有意義に過ごしていただけるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) アセスメントに基づいてチームでサービス担当者会議を開催し、利用者主体の目標を立て個別性のあるケアプランの作成に努めています。 (外部評価) 利用者毎の担当者を決め、本人や家族の要望を聞き、情報収集してアセスメントシートを作成している。それを基にサービス担当者会議で意見を出し合い、その人らしく暮らせるよう介護計画を立てている。介護計画に沿ってサービス提供できるよう、日課計画表を作成し、個別のサービスを明確にしている。	※	サービス担当者会議の開催時には本人や家族等も意見が出し合える様に取り組みたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月の更新時に見直しを行っているが入院されたり著しく変化があった場合は、早めにモニタリングを行いケアプランを変更する様にしています。 (外部評価) 毎日担当者及び夜勤者が介護計画の遂行状況を評価し、利用者の状態を見極め、見直しに役立てている。入院等で状態変化が見られた場合は早めにモニタリングし、見直している。基本的には担当者が3か月ごとにモニタリングし、サービス担当者会議で話し合い、新たな計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別のファイルに時系列で丁寧に記載しておりケアプランが反映できる様、実践や気づきが記入されています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設のデイサービスでの行事に参加させてもらったり、介護車両を利用して載くことにより、全員の外出や個別の医療受診等の支援ができています。 (外部評価) デイサービスの介護車両を利用して、車いすの方も含め全員での外出を支援している。認知症の進行している方や車いすの方の通院介助にも介護車両を使用し、職員が同行している。家族から宿泊の希望があれば量を貸し出したり、弁当持参で面会に来る家族にお茶を提供したりする等、柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて民生委員や市役所の介護福祉課等と連携を取っています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人や家族の意向があれば保険外サービス等も受けられる様支援します。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 4月より介護予防も取り入れており、必要性に応じて地域包括センターとも協働していきます。	※	地域包括支援センターの御指導を得て、必要となることの学習をしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関のかかりつけ医による月1回の定期検診と、週1回の往診は継続しており、入居時に希望を確認し協力医療機関外との連携も大切に適切な医療が受けられる様に支援しています。 <hr/> (外部評価) 月に1回協力医による定期健診があり、利用者全員が受診している。また、週1回及び随時の往診で、健康面で気になる利用者の受診を支援している。受診の結果異常が認められた場合は家族に連絡し、医師からの説明を受けられるようにしている。かかりつけ医は本人や家族の希望に沿っており、入居前からの医師に診てもらっている利用者もいる。	※	かかりつけ医による定期の検診や往診外でも必要に応じ定期受診や専門医受診等の援助は行っています。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の往診を受けながら、医師との関係を築き、職員が相談したり安心した治療を支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ユニットには、看護師が配置されており、医療の連携や健康管理はきちんとできています。	※	必要に応じ訪問看護の依頼も検討しています。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には看護師である管理者が同行し、早期退院ができる様医療関係者と情報交換したり退院に向けての担当者会議を依頼したりしています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合やターミナルケアの希望がある場合は、本人や家族の意志を尊重し、繰り返し話し合い方針を決めケアプランを立て対応する様にしています。 <hr/> (外部評価) 入居時から、重度化した場合について本人や家族の希望を聞いており、利用者の状態変化がある度に家族と話し合い方針を決めている。ホームでは医療面でできることに限りがあることを家族にも了解を得て、協力医と連携し、ターミナルケアに積極的に取り組んでいる。家族が病院等への転居を希望する場合は転居の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者や家族の要望になるべく添える様にしてゆきたいが、医療行為等できない事を理解していただき、かかりつけ医と共にチームとしての支援は行っています。	※	かかりつけ医は家族や本人へきちんと説明を行い緊急時にはいつでも往診や指示が受けられる様な連携体制をとっています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 準備時より関係者間で十分な話し合いを持つようにし、管理者は必要に応じ介護サマリー等の情報交換を行いダメージの防止に努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉かけには細心の注意を払い、個人情報外部に漏らしたり持ち出さないようにしている。 (外部評価) 接遇面で利用者の誇りを損ねるような声かけをしないよう注意しており、さりげなく穏やかな声かけがされている。ホーム便りに利用者の名前や写真を掲載することは、同意を得ている。また、個人情報が記載された書類の管理にも気をつけている。	※	記録や書類等の管理や職員への接遇教育等も適宜行い、徹底していきます。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 納得いくまで説明し本人の意思表示をしっかりと受け止め、納得いく暮らしができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の余裕のある落ち着いた表情や笑顔を把握しながら、スキンシップや声かけを心掛けており個別の希望に沿うよう支援しています。 (外部評価) 身体機能の低下により自由に動きにくい方には、足上げ等のリハビリで筋力を上げる支援をしている。体調の悪い時や集団で過ごすのが苦手な方には職員が付き添い、居室で食事を取れるよう支援している。	※	個々に行きたい所や外食買い物ツアー等希望に沿うよう支援しています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 身だしなみやお洒落は、本人の希望を取り入れて支援している。散髪は家族が来所し自室で理容される人もいれば、家族同伴で美容室に行かれたり、出張理容を依頼したり個々に対応しています。	※	お買い物ツアーを月1回実行し、本人の希望に添った化粧品等を共に探したり必用に応じ個別に支援しています。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 自農園で収穫したナスや芋など季節野菜が食卓に盛られ、お手伝いのできる人には活躍してもらい、和やかな雰囲気ですぐに進められている。 (外部評価) 畑で収穫した野菜を食材に利用しているため、新鮮で話題にもなる。毎食検食し、利用者の好みも考慮しておいしい食事の提供に努めている。食事の準備を手伝ってくれた利用者へ感謝の気持ちでねぎらっている。準備や後片付け、手作りおやつを作る等、利用者ができることで関わってもらえるよう支援している。	※	おやつ作りなど参加して貰い利用者と一緒に作っている
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒や飲み物はその人に合ったものを健康に支障のない程度に提供し、状況に応じて楽しんでもらっています。	※	買出しの際利用者より個別のにおやつ等を依頼され、一緒に買ってきたりもしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の力や排泄パターンを把握して、失敗しても自尊心を傷つけないよう配慮し支援しています。	※	なるべくおむつを使用しない様に各自の排泄パターンを把握し、排泄チェック表で確認し、早めにトイレ誘導等を行っています。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望に応じ、タイミングを合わせて入浴支援している。受診前日などを知らせ、理解を深めていただき心地良い入浴を支援しています。 (外部評価) 一人ひとりの希望に合わせ、隔日、あるいは毎日入浴を支援している。介護度の高い利用者もシャワーいすを利用しながら浴槽に入ることができている。以前は入浴拒否の方もいたが、今は馴染みの関係ができたためか拒否の方はいない。	※	入浴時間帯を午後としているが希望や状況に応じ適時入浴可能としています。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中出来る限りリハビリやレクに参加して貰い活動的に過ごしていただき、気持ちよく眠れるように支援しておりその時の状況に応じ随時安心して気持ちよく休んでいただく配慮をしている。	※	不眠の訴え者には、睡眠パターンや生活リズムを把握し、なるべく眠剤等を使用しない様にしています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その人に応じて、職員と食料品の買い物に外出したり、ホーム内では洗濯物干しや片付・食事の準備や片付・掃除等、自分らしい姿を発揮できるよう支援している。 (外部評価) 一人ひとりのできることを把握し、立ち仕事のできない利用者にも洗濯物たたみ、お茶の詰め替え、野菜の下準備、お盆拭き等座ってできる仕事をお願いし、感謝の気持ちを伝えていく。過去の生活歴を活かし、家庭菜園をしていた利用者は農園で畑仕事をしている。また、レクリエーションの時間を設け、カラオケ、習字、塗り絵等楽しんでいく。	※ ※	趣味等が活かせる様にレクでの創作活動や書道等を取り入れています。 センター方式をホーム独自の方式に改良したフェイスシートを作り、利用者の生活歴や暮らし方を詳しく把握できるようにする予定である。フェイスシートを活用し、さらに一人ひとりの生活歴を活かした支援に期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の希望や能力に応じ、所持したり家族より預り金をいただき、いつでも使えるように支援している。	※	月2～3回パン販売に来て貰って自己選択購入を支援し行っています。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 併設してあるデイサービスの行事に参加させていただいたり、近くの自農園へ野菜の収穫に行ったり、ホーム周辺の散歩等外出支援をしています。 (外部評価) 天気の良い時は車いすの方も含め散歩に出かけたり、農園の水遣りや収穫を楽しんだりしている。駐車場に張ったテントで休憩し、お茶を楽しむこともある。月2回程度全員で買い物ツアーや外食、カラオケ、花見等に出かけ、気分転換している。歩行の可能な方は日常的な買い物にも出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族との外出を把握した上で、行きたい所を個別に外出して貰ったり、レクリエーション等で行ってみたい所の希望を取り入れスケジュールを組み実施している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の要望により、電話や手紙のやり取りがいつでも出来るよう支援している。	※	手紙等の文章を書く機会を設け、自主的に書ける様に支援していきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族や知人さんが気軽にいつでも訪問できるような雰囲気づくりをしている。	※	来訪時は自室で親近感を持っていただくよう、お茶やお菓子などで接待をしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全ての職員が身体拘束禁止の対象となる行為をしないように正しいケアに取り組んでいる。	※	身体拘束の弊害が正しく理解できているか、適宜認識を確認しています。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的に施錠をしない取り組みをしている。居室や日中の玄関は施錠していません。 (外部評価) 外出傾向のある方を把握し、見守りに努め、外出時は一緒について出かけている。現在は外出傾向のある方が活動的であることを把握し、ホームで役割を担ってもらうことで落ち着いている。各ユニットの出入り口にドアの開放時にチャイムが鳴るセンサーをつけて外出を察知できるようにし、日中は鍵をかけないケアをしている。	※	日中は鍵をかけなくて済むような配慮をされており、日常生活の中で外出傾向のある人は、把握できており、個別対応に努めています。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常にさりげない目配り気配りで対応しており、夜間は1時間毎の巡回と昼間は常時見守りを施行している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状態に応じ、見守りや声掛けしながら個別に危険なものはチェックし、危険防止に努めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人ひとりのケアプランに基づいて状態を確認し、事故防止に取り組んでいる。	※	リスクマネジメントの研修に参加したり、事故防止の為に学習会等を開催し、職員の認識を高めるようにしています。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 利用者の行動を把握し、全ての職員が緊急時に対応できるよう、マニュアルや手順表を電話機の近くに掲示している。	※	救急救命の講習を開催する事により指導が受けられる様にしました。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 防災マニュアルを作成し、毎年消防署の指導及び訓練を受けられるように、また地域の人々の協力も得られるよう働きかけている。	※	地域の方々の協力が得られるように災害時の訓練を一緒に行えるように取り組んで行きたい。
			(外部評価) 消防署の協力のもと利用者と共に避難訓練を実施している。ホーム独自にも消火器の使い方、避難経路の確認等の訓練をしている。また、緊急時の連絡網等、防災マニュアルを作成し、運営推進会議では地域の方に協力をお願いしている。今の所夜間を想定した避難訓練は実施していない。	※	職員の少ない夜間を想定した避難訓練を実施し、確実な避難誘導ができるよう準備しておくことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについては入居時に家族によく説明して納得していただき、利用者の暮らしを大切にしよう話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化や異常に対し、早期発見出来るよう見守りの中変化に気付いた時は速やかに対応している。	※	毎朝バイタルをチェックし異常があれば看護師に報告指示や処置を受けています。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人一人が服用する薬は把握しており、用法や用量も毎回確認している。	※	利用者一人ひとりの薬をケースに整理し、チェックシートに記入することで飲み忘れを防止し、指示通り服用できる様に管理し、症状の変化等の確認に努めています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 利用者の排泄パターンを把握し、状況に応じ予防と対応に取り組んでいる。	※	食事摂取量や水分摂取が不足しないよう確認表を使用し、不足傾向の方には毎回声掛け摂取出来る様にうながしています。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアの声掛けをし、出来ているかチェックし確認表に記録して支援している。	※	利用者の状況に応じ、職員が口腔ケアを介助したり必要に応じ歯科受診の援助を行っています。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の食事量や栄養のバランス等を把握し確保できる様に支援している。必要な利用者には食事や水分の必要性を説明している。 (外部評価) 調理・検食記録表に献立や食材を記入し、食材が重ならないように献立を一食分ずつ立てている。食事・水分摂取量をチェックし、記録して利用者一人ひとりが必要量を確保できるよう支援している。また、利用者の状態に合わせて粥や刻み食を提供している。年に数回栄養士に点検してもらい、摂取カロリー、栄養バランスを確認している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 外出時の手洗いやうがいを励行し、インフルエンザの予防接種は利用者、職員全員に毎年実施しています。	※	感染症の項目別マニュアルの見直しや定期的な学習会を検討しています。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 衛生管理に徹底し、毎日の買い物にて、新鮮で安全な食材を使用し、食中毒の予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 日中施錠せず、家族や近隣の人に親しみやすく、安心して出入り出来る玄関周りになっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者がくつろぐ共有空間から中庭の緑や外の景色が居心地よく映えている。玄関やテーブル、洗面所には生け花を飾って季節感を大切にしています。 (外部評価) 玄関、洗面所、リビングに季節の花を飾り、テレビの前にソファを置き、カラオケを楽しめるようにしている。リビングに続く和室は腰かけられる高さで、ボランティアの大正琴等の演奏時には舞台となっている。また、リビングから見える中庭は心和む草木が植えられている。洗濯物干し場でもあるテラスも風雨よけの工夫がされている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者が安心出来る場所や個々の好きな場所で過ごせる様、ソファや椅子を配置し工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 長い間使い慣れたもの、思い出の品や写真など持ち込んで貰い居心地よく過ごせるよう工夫している。 (外部評価) 居室はフローリングであるが、転倒の恐れのある方の部屋は壁や床に絨毯様の物を張り、衝撃を少なくするよう工夫している。入居前、床に布団で寝ていた方は畳を敷いてしている。仏壇や本、写真等利用者が大切にしている物が持ち込まれている。収納スペースが広いので、テレビやいす等を置いても家族が泊まる余裕がある。	※	家族と職員が相談しながら居心地よい安心出来る居室づくりに取り組み、居室に泊っていただいたり、食事提供のサービスも時折実施しています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) お天気の良い日は毎朝窓を開放して空気の入替えをしている。空調換気には充分気をつけ、快適な生活を送って貰っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 身体機能を活かせるよう建物内部を有効利用し、手すり等利用することで安全で自立した生活が送れる様に支援しています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 楽しみながらできるリハビリを目指し、スタッフとの対話の中、わかる力を活かして、自立して暮らせる工夫をしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の玄関先には目に優しい観葉植物を置いたり花だん等があり、テラスにはソファを置いて活動出来る様に透明スレートの屋根を付け明かりを取り入れている。	※	駐車場にテントを設営し、テーブル等を置き、散策時の休憩場所としたり、ティータイムに利用できるようにしています。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	申し送りや担当者会議にスタッフは参加したり、互いの個人別経過記録を読み把握するようにしている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	AM, PMレクリエーションタイムを取っている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その日の状態を把握し、その人らしく自室やリビング、あるいは家族同伴で外出したりしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が入浴やレクリエーション日々の生活の中でキャッチしている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎月のスケジュールを企てる前に利用者の要望を聞いている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月1回はかかりつけ医の健診があり、往診等は必要に応じて随時来て頂いている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々会話の中で状況や要望を把握出来ている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	毎日のように家族の来訪には、マイホーム感覚がある会話や冗談が出たり、時には手土産をいただいたり、困っていることの相談は、真剣に受け止めている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ヤクルト販売やパン販売が来所、近所の人々より菜園物をいただいたりしています

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	定期的な運営推進会議により理解者や応援者が増えている
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々笑顔が多く見られており、活発な会話があります
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の表情が明るく、不満の声は殆んど聞かれません
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族からよく来訪の度お土産をいただいたり、長時間過ごしていただき、殆んど家族よりお礼の言葉を頂いています

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ①個別にリハビリプランを立て、各種機能訓練を毎朝実行しています。またマッサージ師によるリハビリは月曜日～金曜日に行っています。
- ②外気浴や気分転換の為、環境を生かして随時散歩や自農園へ収穫に出かけたり、戸外レクレーションを行ったりしています。
- ③地域交流のため、年1回夏祭りを実地し家族や地域の方を招いたり、地域の行事には積極的に参加させていただいたりしています。
- ④年中行事や季節行事、お誕生会等は、家族も交えてのサービス提供を心がけています。
- ⑤サービスの向上の為、2ヶ月に1回は運営推進会議を開催しており毎月の新聞の発行等地域との連携を大切にしています。